

天保の改革

大塩の乱は幕藩体制に大きな爪跡を残し、現体制に対する危機意識が幕府内に生じた。しかし、徳川家斉は將軍職を譲った後も幕政に隠然たる影響力をなお行使し、改革にブレーキをかけていた。そのため家斉の死は、幕政に1つの転機をもたらした。老中水野忠邦は本格的な改革を開始し、膨れあがった問題に対処した。

○水野忠邦の登場

●前途多難の改革開始

1841年、実権を長く掌握していた11代將軍⁽¹⁾ _____ が死去した。

→12代將軍⁽²⁾ _____ のもとで老中⁽³⁾ _____ が幕政の中心となった。

⇒(3)は、享保の改革・寛政の改革に倣った⁽⁴⁾ _____ と称される改革で、以前にも増して深刻となった“内憂外患”に対処した。

内憂…風紀の引き締め、農村の再興、財政の再建、幕府権力の再強化

外患…異国船接近に備えた海岸防備の強化



図1 水野忠邦

○天保の改革

●質素儉約と風俗取締り

儉約令や風俗取締令を発令して、將軍・大奥^{おおおく}も対象に次のことを決めた。

- ①贅^{ぜいたく}沢品や華美な衣服、高価な菓子・料理などの禁止
- ②江戸の寄席211軒を15軒まで減少
- ③歌舞伎を浅草のはずれに移動し、町を歩く役者に編笠^{あみがさ}着用を義務化
- ④『春色梅児誉美』など⁽⁵⁾ _____ の作家⁽⁶⁾ _____ と、
『修紫田舎源氏』など合巻^{あひまき}の作家⁽⁷⁾ _____ を処罰



図2 編笠をもつ歌舞伎役者

●農村の再興

百姓が出稼ぎ目的に江戸へ流入し、農村の人手不足と荒廃が深刻になった。

⇒⁽⁸⁾ _____ を発令し、江戸に流入した貧民を強制的に帰郷させた。



田沼意次^{おきつぐ}に発案されながら中絶した印旛沼^{いんぼぬま}の干拓を再開し、新田開発と水運開設による農村の再興も図った。



図3 印旛沼干拓の作業

●物価騰貴の抑制

<原因への誤った対処>

物価騰貴の原因は、十組問屋^{とくみといや}など幕府に公認された仲間⁽⁹⁾ _____ が、
上方市場^{かみがた}からの商品流通を独占しているからと考えられた。

→物価を引き下げるために、株仲間解散令⁽⁸⁾を発令し、(8)の解散を命じた。

⇒実際の原因は生産地からの供給不足にあり、解散はむしろ江戸への輸送量を乏しくした。

<騰貴による問題への対処>

物価騰貴は、旗本・御家人の生活を圧迫していた。

⇒棄捐令^{きえんれい}を発令し、札差^{ふださし}に貸金返済^{かしきん}の帳消しと低利の貸金を命じた。

●海岸防備と救済の失敗

川越藩主は相模の海岸防備の負担に苦しみ、領地の移動（てんぼう 転封）を嘆願した。

→幕府は願いを聞き入れ、川越藩主の領地を庄内藩に、庄内藩主の領地を長岡藩に、長岡藩主の領地を川越藩に移動しようとした。

→このように3藩を同時に入れ替えることを⁽¹⁰⁾ _____ と呼ぶ。

⇒(10) は、⁽¹¹⁾ _____ 藩の領民の強い反対が起きたことで撤回された。

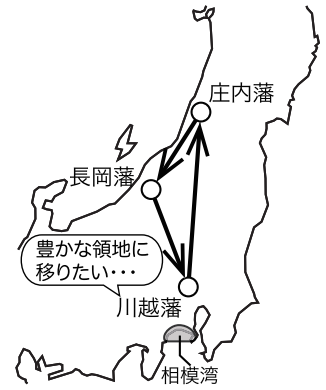


図4 三方領知替え

●幕府権力の再強化と不満

1843年、徳川家慶は幕府権力の再強化を意図し、日光東照宮の参詣を実行した。

⇒莫大な費用と人手を要したため、財政悪化と動員された人々の不満を招いた。

●最大の失策と水野忠邦の退場

1843年、財政の再建や対外の防備強化を意図し、⁽¹²⁾ _____ を発令して、

江戸・大坂周辺の約50万石の土地を直轄地にしようとした。

⇒大名・旗本・農民の強い反対で、(12) は撤回された。



1843年、(12) の撤回を契機に、水野忠邦は退陣させられた。

⇒天保の改革は失敗に終わり、印旛沼の干拓も中止された。

○改革失敗の2つの背景

●農村の変化

19世紀初め、北関東の人口は1世紀前と比べて3割減り、田地は荒廃していた。

⇒つまり、農村の年貢米を財政基盤とした幕藩体制は、すでに行き詰まっていた。



19世紀前半、荒廃した農村の復興指導者として次の2人が現れた。

①⁽¹³⁾ _____ …勤労・儉約を中心とする事業法⁽¹⁴⁾ _____ を実施した人物

②⁽¹⁵⁾ _____ …勤儉や人の本性を論じる実践学問「性学」を説いた人物



しかし、農村には多様な商業・職業がすでに広がり、日雇労働で暮らす貧民もいた。

⇒経済に対処しない農村の復興策だけでは、幕藩体制を立て直せなかった。



図5 二宮尊徳



図6 大原幽学

●経済の変化

18世紀、問屋は、産地に資金・原料を貸与して生産させる⁽¹⁶⁾ _____ を始めた。



19世紀、一部の問屋・地主は、作業場を設けてそこに労働者を集め、分担・協力による手作業で生産させる⁽¹⁷⁾ _____ (_____) を始めた。

⇒(17) は、尾張の綿織物業、北関東の絹織物業、池田・灘^{なだ}などの酒造業で見られた。



諸藩は、19世紀の新しい経済活動を取り入れ、次の改革をおこなった。

①藩営工業…諸藩が直営したマニュファクチュアの総称

②藩専売制…諸藩がおこなった特産物などの専売制度